

# Mat

## Chapter 1

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

- 1 Βίβλος γενέσεως Ἰησοῦ Χριστοῦ, υἱοῦ Δαυὶδ, υἱοῦ Ἀβραάμ.  
系図の-書 起源の イエス キリストの子である ダビデの子である アブラハムの  
[G0976](#) [G1078](#) [G2424](#) [G5547](#) [G5207](#) [G1138](#) [G5207](#) [G0011](#)

アブラハムの子であるダビデの子、イエス・キリストの系図。

- 2 Ἀβραὰμ ἐγέννησεν τὸν Ἰσαὰκ; Ἰσαὰκ δὲ ἐγέννησεν τὸν Ἰακώβ;  
アブラハムは もうけた — イサクを イサクは また もうけた — ヤコブを  
[G0011](#) [G1080](#) [G3588](#) [G2464](#) [G2464](#) [G1161](#) [G1080](#) [G3588](#) [G2384](#)
- Ἰακώβ δὲ ἐγέννησεν τὸν Ἰούδαν καὶ τοὺς ἀδελφοὺς αὐτοῦ;  
ヤコブは また もうけた — ユダと そして — 兄弟たちを 彼の  
[G2384](#) [G1161](#) [G1080](#) [G3588](#) [G2455](#) [G2532](#) [G3588](#) [G0080](#) [G0846](#)

アブラハムはイサクの父であり、イサクはヤコブの父、ヤコブはユダとその兄弟たちとの父、

- 3 Ἰούδας δὲ ἐγέννησεν τὸν Φαρὲς καὶ τὸν Ζαρὰ ἐκ τῆς Θάμαρ;  
ユダは また もうけた — パレスと そして — ザラを ~から — タマルの  
[G2455](#) [G1161](#) [G1080](#) [G3588](#) [G5329](#) [G2532](#) [G3588](#) [G2196](#) [G1537](#) [G3588](#) [G2283](#)
- Φαρὲς δὲ ἐγέννησεν τὸν Ἑσρῶν; Ἑσρῶν δὲ ἐγέννησεν τὸν Ἀράμ;  
パレスは また もうけた — エスロンを エスロンは また もうけた — アラムを  
[G5329](#) [G1161](#) [G1080](#) [G3588](#) [G2074](#) [G2074](#) [G1161](#) [G1080](#) [G3588](#) [G0689](#)

ユダはタマルによるパレスとザラとの父、パレスはエスロンの父、エスロンはアラムの父、

- 4 Ἀράμ δὲ ἐγέννησεν τὸν Ἀμιναδάβ; Ἀμιναδάβ δὲ ἐγέννησεν τὸν  
アラムは また もうけた — アミナダブを アミナダブは また もうけた —  
[G0689](#) [G1161](#) [G1080](#) [G3588](#) [G0284](#) [G0284](#) [G1161](#) [G1080](#) [G3588](#)
- Ναασσών; Ναασσών δὲ ἐγέννησεν τὸν Σαλμών;  
ナアソンを ナアソンは また もうけた — サルモンを  
[G3476](#) [G3476](#) [G1161](#) [G1080](#) [G3588](#) [G4533](#)

アラムはアミナダブの父、アミナダブはナアソンの父、ナアソンはサルモンの父、

- 5 Σαλμών δὲ ἐγέννησεν τὸν Βόες ἐκ τῆς Ῥαχάβ; Βόες δὲ  
サルモンは また もうけた — ボアズを ~から — ラハブの ボアズは また  
[G4533](#) [G1161](#) [G1080](#) [G3588](#) [G1003](#) [G1537](#) [G3588](#) [G4477](#) [G1003](#) [G1161](#)
- ἐγέννησεν τὸν Ἰωβῆδ ἐκ τῆς Ῥούθ; Ἰωβῆδ δὲ ἐγέννησεν τὸν  
もうけた — オベデを ~から — ルツの オベデは また もうけた —  
[G1080](#) [G3588](#) [G5601](#) [G1537](#) [G3588](#) [G4503](#) [G5601](#) [G1161](#) [G1080](#) [G3588](#)

Ἰεσσαί;  
エッセイを  
[G2421](#)

サルモンはラハブによるボアズの父、ボアズはルツによるオベデの父、オベデはエッセイの父、

6 Ἰεσσαὶ δὲ ἐγέννησεν τὸν Δαυὶδ τὸν βασιλέα. Δαυὶδ δὲ ἐγέννησεν  
 エッサイは また もうけた — ダビデ — 王を ダビデは また もうけた  
[G2421](#) [G1161](#) [G1080](#) [G3588](#) [G1138](#) [G3588](#) [G0935](#) [G1138](#) [G1161](#) [G1080](#)

τὸν Σολομῶνα ἐκ τῆς τοῦ Οὐρίου;  
 — ソロモンを ~から — — ウリヤの-妻の  
[G3588](#) [G4672](#) [G1537](#) [G3588](#) [G3588](#) [G3774](#)

エッサイはダビデ王の父であった。ダビデはウリヤの妻によるソロモンの父であり、

7 Σολομῶν δὲ ἐγέννησεν τὸν Ῥοβοάμ; Ῥοβοάμ δὲ ἐγέννησεν τὸν  
 ソロモンは また もうけた — レハベアムを レハベアムは また もうけた —  
[G4672](#) [G1161](#) [G1080](#) [G3588](#) [G4497](#) [G4497](#) [G1161](#) [G1080](#) [G3588](#)

Ἀβιά; Ἀβιά δὲ ἐγέννησεν τὸν Ἀσάφ;  
 アビヤを アビヤは また もうけた — アサを  
[G0007](#) [G0007](#) [G1161](#) [G1080](#) [G3588](#) [G0760](#)

ソロモンはレハベアムの父、レハベアムはアビヤの父、アビヤはアサの父、

8 Ἀσάφ δὲ ἐγέννησεν τὸν Ἰωσαφάτ; Ἰωσαφάτ δὲ ἐγέννησεν τὸν Ἰωράμ;  
 アサは また もうけた — ヨサパテを ヨサパテは また もうけた — ヨラムを  
[G0760](#) [G1161](#) [G1080](#) [G3588](#) [G2498](#) [G2498](#) [G1161](#) [G1080](#) [G3588](#) [G2496](#)

Ἰωράμ δὲ ἐγέννησεν τὸν Ὀζίαν;  
 ヨラムは また もうけた — ウジヤを  
[G2496](#) [G1161](#) [G1080](#) [G3588](#) [G3604](#)

アサはヨサパテの父、ヨサパテはヨラムの父、ヨラムはウジヤの父、

9 Ὀζίας δὲ ἐγέννησεν τὸν Ἰωαθάμ; Ἰωαθάμ δὲ ἐγέννησεν τὸν Ἄχαζ;  
 ウジヤは また もうけた — ヨタムを ヨタムは また もうけた — アハズを  
[G3604](#) [G1161](#) [G1080](#) [G3588](#) [G2488](#) [G2488](#) [G1161](#) [G1080](#) [G3588](#) [G0881](#)

Ἄχαζ δὲ ἐγέννησεν τὸν Ἐζεκίαν;  
 アハズは また もうけた — ヒゼキヤを  
[G0881](#) [G1161](#) [G1080](#) [G3588](#) [G1478](#)

ウジヤはヨタムの父、ヨタムはアハズの父、アハズはヒゼキヤの父、

10 Ἐζεκίας δὲ ἐγέννησεν τὸν Μανασσῆ; Μανασσῆ δὲ ἐγέννησεν τὸν  
 ヒゼキヤは また もうけた — マナセを マナセは また もうけた —  
[G1478](#) [G1161](#) [G1080](#) [G3588](#) [G3128](#) [G3128](#) [G1161](#) [G1080](#) [G3588](#)

Ἀμώς; Ἀμώς δὲ ἐγέννησεν τὸν Ἰωσίαν;  
 アモスを アモスは また もうけた — ヨシヤを  
[G0301](#) [G0301](#) [G1161](#) [G1080](#) [G3588](#) [G2502](#)

ヒゼキヤはマナセの父、マナセはアモンの父、アモンはヨシヤの父、

11 Ἰωσίας δὲ ἐγέννησεν τὸν Ἰεχονίαν καὶ τοὺς ἀδελφοὺς αὐτοῦ, ἐπὶ  
 ヨシヤは また もうけた — エコニヤと そして — 兄弟たちを 彼の ~の-頃  
[G2502](#) [G1161](#) [G1080](#) [G3588](#) [G2423](#) [G2532](#) [G3588](#) [G0080](#) [G0846](#) [G1909](#)

τῆς μετοικεσίας Βαβυλώνος,  
 — 捕囚の バビロンへの  
[G3588](#) [G3350](#) [G0897](#)

ヨシヤはバビロンへ移されたころ、エコニヤとその兄弟たちとの父となった。

12 Μετὰ δὲ τὴν μετοικεσίαν Βαβυλῶνος, Ἰεχονίας ἐγέννησεν τὸν Σαλαθιήλ;  
~の後 さて 一 捕囚の バビロンへの エコニヤは もうけた 一 サラテルを  
[G3326](#) [G1161](#) [G3588](#) [G3350](#) [G0897](#) [G2423](#) [G1080](#) [G3588](#) [G4528](#)

Σαλαθιήλ δὲ ἐγέννησεν τὸν Ζοροβαβέλ;  
サラテルは また もうけた 一 ゾロバベルを  
[G4528](#) [G1161](#) [G1080](#) [G3588](#) [G2216](#)

バビロンへ移されたのち、エコニヤはサラテルの父となった。サラテルはゾロバベルの父、

13 Ζοροβαβὲλ δὲ ἐγέννησεν τὸν Ἀβιούδ; Ἀβιούδ δὲ ἐγέννησεν τὸν  
ゾロバベルは また もうけた 一 アビウデを アビウデは また もうけた 一  
[G2216](#) [G1161](#) [G1080](#) [G3588](#) [G0010](#) [G0010](#) [G1161](#) [G1080](#) [G3588](#)

Ἐλιακίμ; Ἐλιακίμ δὲ ἐγέννησεν τὸν Ἀζώρ;  
エリヤキムを エリヤキムは また もうけた 一 アゾルを  
[G1662](#) [G1662](#) [G1161](#) [G1080](#) [G3588](#) [G0107](#)

ゾロバベルはアビウデの父、アビウデはエリヤキムの父、エリヤキムはアゾルの父、

14 Ἀζώρ δὲ ἐγέννησεν τὸν Σαδώκ; Σαδώκ δὲ ἐγέννησεν τὸν Ἀχίμ;  
アゾルは また もうけた 一 サドクを サドクは また もうけた 一 アキムを  
[G0107](#) [G1161](#) [G1080](#) [G3588](#) [G4524](#) [G4524](#) [G1161](#) [G1080](#) [G3588](#) [G0885](#)

Ἀχίμ δὲ ἐγέννησεν τὸν Ἐλιοῦδ;  
アキムは また もうけた 一 エリウデを  
[G0885](#) [G1161](#) [G1080](#) [G3588](#) [G1664](#)

アゾルはサドクの父、サドクはアキムの父、アキムはエリウデの父、

15 Ἐλιοῦδ δὲ ἐγέννησεν τὸν Ἐλεάζαρ; Ἐλεάζαρ δὲ ἐγέννησεν τὸν  
エリウデは また もうけた 一 エレアザルを エレアザルは また もうけた 一  
[G1664](#) [G1161](#) [G1080](#) [G3588](#) [G1648](#) [G1648](#) [G1161](#) [G1080](#) [G3588](#)

Ματθάν; Ματθάν δὲ ἐγέννησεν τὸν Ἰακώβ;  
マタンを マタンは また もうけた 一 ヤコブを  
[G3157](#) [G3157](#) [G1161](#) [G1080](#) [G3588](#) [G2384](#)

エリウデはエレアザルの父、エレアザルはマタンの父、マタンはヤコブの父、

16 Ἰακώβ δὲ ἐγέννησεν τὸν Ἰωσήφ τὸν ἄνδρα Μαρίας, ἐξ ἧς  
ヤコブは また もうけた 一 ヨセフを 一 夫である マリヤの ~から 彼女から  
[G2384](#) [G1161](#) [G1080](#) [G3588](#) [G2501](#) [G3588](#) [G0435](#) [G3137](#) [G1537](#) [G3739](#)

ἐγεννήθη Ἰησοῦς, ὁ λεγόμενος Χριστός.  
生まれた イエスが 一 呼ばれる キリストと  
[G1080](#) [G2424](#) [G3588](#) [G3004](#) [G5547](#)

ヤコブはマリヤの夫ヨセフの父であった。このマリヤからキリストといわれるイエスがお生れになった。

17 Πᾶσαι οὕν αἱ γενεαὶ ἀπὸ Ἀβραὰμ ἕως Δαυὶδ γενεαὶ  
 すべての このように 一 世代は ~から アブラハムから ~まで ダビデまで 世代が  
[G3956](#) [G3767](#) [G3588](#) [G1074](#) [G0575](#) [G0011](#) [G2193](#) [G1138](#) [G1074](#)

δεκατέσσαρες; καὶ ἀπὸ Δαυὶδ ἕως τῆς μετοικεσίας Βαβυλῶνος, γενεαὶ  
 十四あり また ~から ダビデから ~まで 一 捕囚の バビロンへの 世代が  
[G1180](#) [G2532](#) [G0575](#) [G1138](#) [G2193](#) [G3588](#) [G3350](#) [G0897](#) [G1074](#)

δεκατέσσαρες; καὶ ἀπὸ τῆς μετοικεσίας Βαβυλῶνος ἕως τοῦ Χριστοῦ,  
 十四あり また ~から 一 捕囚から バビロンの ~まで 一 キリストまで  
[G1180](#) [G2532](#) [G0575](#) [G3588](#) [G3350](#) [G0897](#) [G2193](#) [G3588](#) [G5547](#)

γενεαὶ δεκατέσσαρες,  
 世代が 十四ある  
[G1074](#) [G1180](#)

だから、アブラハムからダビデまでの代は合わせて十四代、ダビデからバビロンへ移されるまでは十四代、そして、バビロンへ移されてからキリストまでは十四代である。

18 Τοῦ δὲ Ἰησοῦ Χριστοῦ ἡ γένεσις οὕτως ἦν. μνηστευθείσης τῆς  
 一 さて イエス キリストの 一 誕生は このように であった 婚約していた 一  
[G3588](#) [G1161](#) [G2424](#) [G5547](#) [G3588](#) [G1078](#) [G3779](#) [G1510](#) [G3423](#) [G3588](#)

μητρὸς αὐτοῦ Μαρίας τῷ Ἰωσήφ, πρὶν ἢ συνελθεῖν αὐτοὺς,  
 母 彼の マリヤが 一 ヨセフと まだ ~する-前に 一緒に-なる 彼らが  
[G3384](#) [G0846](#) [G3137](#) [G3588](#) [G2501](#) [G4250](#) [G2228](#) [G4905](#) [G0846](#)

εὐρέθη ἐν γαστρὶ ἔχουσα ἐκ πνεύματος ἁγίου.  
 身ごもっている-ことが-わかった ~の 胎に 子を-宿して ~から 御霊 聖なる-方の  
[G2147](#) [G1722](#) [G1064](#) [G2192](#) [G1537](#) [G4151](#) [G0040](#)

イエス・キリストの誕生の次第はこうであった。母マリヤはヨセフと婚約していたが、まだ一緒にならない前に、聖霊によって身重になった。

19 Ἰωσήφ δὲ, ὁ ἀνὴρ αὐτῆς, δίκαιος ὢν, καὶ μὴ θέλων αὐτὴν  
 ヨセフは しかし 一 夫は 彼女の 正しい-人で あり また ~ない 望んで 彼女を  
[G2501](#) [G1161](#) [G3588](#) [G0435](#) [G0846](#) [G1342](#) [G1510](#) [G2532](#) [G3361](#) [G2309](#) [G0846](#)

δειγματίσαι, ἐβουλήθη λάθρα ἀπολῦσαι αὐτήν.  
 さらし者に-する-ことを 決心した ひそかに 離縁しようと 彼女を  
[G1165](#) [G1014](#) [G2977](#) [G0630](#) [G0846](#)

夫ヨセフは正しい人であったので、彼女のことが公けになることを好まず、ひそかに離縁しようと決心した。

20 ταῦτα δὲ αὐτοῦ ἐνθυμηθέντος, ἰδοὺ, ἄγγελος Κυρίου κατ'  
 これらの-ことを とろが 彼が 思い-巡らしていると 見よ 御使いが 主の ~の-中で  
[G3778](#) [G1161](#) [G0846](#) [G1760](#) [G3708](#) [G0032](#) [G2962](#) [G2596](#)

ὄναρ ἐφάνη αὐτῷ, λέγων, Ἰωσήφ, υἱὸς Δαυὶδ, μὴ φοβηθῆς  
 夢に 現れて 彼に 言った ヨセフよ 子孫である ダビデの ~するな 恐れて  
[G3677](#) [G5316](#) [G0846](#) [G3004](#) [G2501](#) [G5207](#) [G1138](#) [G3361](#) [G5399](#)

παραλαβεῖν Μαρίαν τὴν γυναῖκά σου; τὸ γὰρ ἐν αὐτῇ  
 迎え入れる-ことを マリヤを 一 妻として あなたの 一 なぜなら ~の-うちに 彼女の  
[G3880](#) [G3137](#) [G3588](#) [G1135](#) [G4771](#) [G3588](#) [G1063](#) [G1722](#) [G0846](#)

γεννηθὲν, ἐκ Πνεύματος ἁγίου.  
 宿った-ものは ~から 御霊 である 聖なる-方の  
[G1080](#) [G1537](#) [G4151](#) [G1510](#) [G0040](#)

彼がこのことを思いめぐらしていたとき、主の使が夢に現れて言った、「ダビデの子ヨセフよ、心配しないでマリヤを妻として迎えるがよい。その胎内に宿っているものは聖霊によるのである。

- 21 τέξεται δὲ υἱόν, καὶ καλέσεις τὸ ὄνομα αὐτοῦ Ἰησοῦν;  
 産むであろう そして 男の子を そして 名づけなさい — 名を その-子の イエスと  
[G5088](#) [G1161](#) [G5207](#) [G2532](#) [G2564](#) [G3588](#) [G3686](#) [G0846](#) [G2424](#)
- αὐτὸς γὰρ σώσει τὸν λαὸν αὐτοῦ ἀπὸ τῶν ἁμαρτιῶν αὐτῶν.  
 この-方こそ なぜなら 救って-くださる — 民を ご自身の ~から — 罪から 彼らの  
[G0846](#) [G1063](#) [G4982](#) [G3588](#) [G2992](#) [G0846](#) [G0575](#) [G3588](#) [G0266](#) [G0846](#)

「彼女は男の子を産むであろう。その名をイエスと名づけなさい。彼は、おのれの民をそのもろもろの罪から救う者となるからである」。

- 22 Τοῦτο δὲ ὅλον γέγονεν, ἵνα πληρωθῇ τὸ  
 この-すべての-ことが さて 全て 起こったのは ~する-ために 成就する —  
[G3778](#) [G1161](#) [G3650](#) [G1096](#) [G2443](#) [G4137](#) [G3588](#)
- ῥηθὲν ὑπὸ Κυρίου διὰ τοῦ προφήτου, λέγοντος,  
 語られた-ことが ~によって 主から ~を-通して — 預言者を こう-言われた  
[G2046](#) [G5259](#) [G2962](#) [G1223](#) [G3588](#) [G4396](#) [G3004](#)

「すべてこれらのことが起ったのは、主が預言者によって言われたことの成就するためである。すなわち、

- 23 Ἴδου, ἡ παρθένος ἐν γαστρὶ ἔξει, καὶ τέξεται υἱόν,  
 見よ — おとめが ~の-うちに 胎に 子を-宿し そして 男の子を-産む 男の子を  
[G3708](#) [G3588](#) [G3933](#) [G1722](#) [G1064](#) [G2192](#) [G2532](#) [G5088](#) [G5207](#)
- καὶ καλέσουσιν τὸ ὄνομα αὐτοῦ Ἐμμανουήλ, ὃ ἐστὶν  
 そして 名づけるであろう — 名を その-子の インマヌエルと それは ~である  
[G2532](#) [G2564](#) [G3588](#) [G3686](#) [G0846](#) [G1694](#) [G3739](#) [G1510](#)
- μεθερμηνευόμενον, Μεθ' ἡμῶν ὁ Θεός.  
 訳すと 我らと共に 私たちの — 神がおられる  
[G3177](#) [G3326](#) [G1473](#) [G3588](#) [G2316](#)

「見よ、おとめがみごもって男の子を産むであろう。その名はインマヌエルと呼ばれるであろう」。これは、「神われらと共にいます」という意味である。

- 24 ἐγερθεὶς δὲ ὁ Ἰωσήφ ἀπὸ τοῦ ὕπνου, ἐποίησεν ὡς  
 目を-覚まして そこで — ヨセフは ~から — 眠りから 行った ~の-通りに  
[G1453](#) [G1161](#) [G3588](#) [G2501](#) [G0575](#) [G3588](#) [G5258](#) [G4160](#) [G5613](#)
- προσέταξεν αὐτῷ ὁ ἄγγελος Κυρίου, καὶ παρέλαβεν τὴν γυναῖκα αὐτοῦ,  
 命じられた 彼に — 御使いが 主の そして 迎え入れた — 妻を 自分の  
[G4367](#) [G0846](#) [G3588](#) [G0032](#) [G2962](#) [G2532](#) [G3880](#) [G3588](#) [G1135](#) [G0846](#)

「ヨセフは眠りからさめた後に、主の使が命じたとおりに、マリヤを妻に迎えた。

- 25 καὶ οὐκ ἐγίνωσκεν αὐτὴν ἕως οὗ ἔτεκεν υἱόν; καὶ  
 しかし ~なかった 知ることは 彼女を ~まで ~する-まで 産んだ 男の子を そして  
[G2532](#) [G3756](#) [G1097](#) [G0846](#) [G2193](#) [G3739](#) [G5088](#) [G5207](#) [G2532](#)
- ἐκάλεσεν τὸ ὄνομα αὐτοῦ Ἰησοῦν.  
 名づけた — 名を その-子の イエスと  
[G2564](#) [G3588](#) [G3686](#) [G0846](#) [G2424](#)

「しかし、子が生れるまでは、彼女を知ることはなかった。そして、その子をイエスと名づけた。